

2019.6.12

グリーンコープ生活協同組合連合会
第二十七期通常総会

グリーンコープ商品の確かさを確認し、 商品事故をなくすとともに 利用を拡大していきます



グリーンコープ連合会
専務理事 西村 大輔さん

いくつもの商品事故を発生させました。薬機法にかかる問題が2件立て続けに起こりましたが、どちらも取引先が虚偽報告をしていました。また、国産ごま、国産なたね油

業務管理を徹底させます

取引先と商品の値下げ交渉を行い、経営改善原資の確保目標を達成しました。得られた利益で組合員拡大に必要なメディア展開などをすすめていきます。

経営の改善を行いました

第一号 議案

2018年度活動報告承認の件

2019年6月12日、グリーンコープ生活協同組合連合会の第二十七期通常総会が開催され、すべての議題について賛成多数で確認されました。
2018年度の活動報告と2019年度の活動方針など(要旨)を報告します。

共生の時代

みどりの地球を
みどりのままで

連合会総会報告

発行：グリーンコープ生活協同組合連合会理事会
編集：共生の時代・編集部
〒812-8561
福岡市博多区博多駅前一丁目5番1号
博多大博通ビルディング3階
TEL092(481)7923
FAX092(481)7876
http://www.greencoop.or.jp/

裏面に委員会報告を
掲載しています。

この取り組みの最大の目的は利用拡大です。組合員は一般の商品との違いがより明確に分かるようになり、今まで以上に自信を持っておすすめできる言葉を獲得することにつながります。

また、グリーンコープ商品を製造するに当たり「してはならない」事項を明確にし、確認するための「特別注視確認書」を作成しました。これによって、商品を製造する人がグリーンコープ商品の特徴を理解し、商品事故を未然に防ぐことができます。

グリーンコープ商品の確かさを確認する活動を開始しました

近年の夏の暑さに対応するため、産直青果の流通温度の設定を20℃から10~15℃に引き上げるための検討をすすめました。各物流センターでは外気温を下げ、配送トラック内や配送センターでの保管温度についても、管理を徹底していきます。

産直青果の品質改善のために温度管理を徹底します

無農薬・減農薬栽培品をさらに追及します

生産者とともに化学合成農薬を減らす取り組みをすすめています。環境ホルモンの疑いがあるネオニコチノイド系農薬の排除については、グリーンコープ青果生産者の会でも検討議題とされ、学習会や調査・研究がすすめられており、共同して取り組みます。

また、これまでスマートフォンで注文した注文システムを開発し、いつでもどこでも注文できるスマートフォンでの注文ツールを拡充します。また、これまでスマートフォンで展開してきたG C W e bや商品情報紹介、G C 照会アプリやレシピBOXなどを、使いやすいように一つのアプリにしたG C 公式アプリ(仮称)の開発に取り組みます。

物流センターの処理能力をアップさせました

物流センターでは仕事業務に新ラインを導入したことで、仕分にかかる人員を削減でき、労働環境、処理能力を向上させると同時に、仕分ミスが減らすことができました。今後もミスをめざしていきます。

スマートフォンでのサービス向上をめざします

また、作物栽培計画書の点検、残留放射能検査や残留農薬検査などをつかりと行い、安心・安全の確かさを追求します。スマートフォンでのサービス向上をめざします。

第三号 議案

2019年度活動方針決定の件



グリーンコープ生協おいた
理事長 宇都宮 陽子さん

一、グリーンコープの主人公である組合員がグリーンコープ運動を展開し、仲間を増やし、利用を高めます。
二、生命(いのち)を守り育むグリーンコープの食への安心・安全な食生活を食べ、私たちの安心・安全な食生活を食べ、より良く育てていきます。

三、グリーンコープ商品を見直し、改善と開発をすすめていきます。
四、組合員の伸びに呼応する生産や製造の実態を再構築し、組合員、メーカー・生産者、ワーカーズ(労働協同組合)、職員とともに利用の拡大をすすめていきます。

五、グリーンコープ商品の確かさを確認する活動「重要なグリーンコープの組合員活動とし、メーカー・生産者との交流によって、商品管理の強化と商品の利用拡大をすすめていきます。

六、グリーンコープらしいこだわりある特別企画商品(雑貨)を増やしていきます。

七、グリーンコープ連合会と単協の経営を一層強化します。

八、四つの共生の願いに基づき取り組みをすすめます。

九、各委員会方針
(一)商品検討委員会
(二)商品おすすめ委員会

2019年度組合員活動方針として、「グリーンコープ商品の確かさを確認する活動」について、グリーンコープ生協おいたの宇都宮理事長が提案しました。

ひとりの母親として、食卓を預かる女性として、子どもたちに、家族に安心・安全なものを食べさせたい。それは、消費者であり組合員である私たちの切なる願いです。グリーンコープでは、私たちの願いを受けてメーカー・生産者が商品を作ってくださっているわけですが、一般的なお店と違うところは、直接メーカーや生産者の方々に会うことができるということです。これからは委員会活動で行われている視察という枠を越えて、さらに私たちが生産の現場に入らせていただき、一つひとつの商品について、どのように作られているのか、その確かさをしっかりと確認していきます。

その中で一番大切なことと考えているのは、生産の現場にいる方々と私たちがつながっていくということです。実際に商品が作られている場に私たちが同って、なぜ私たちが安心・安全なものが欲しいのかというのを、率直に意見交換する中でしっかりと感じていただきたいと思っております。

組合員の質問を聞き、現場の方々が「組合員さんはこんなものが、こんな思いで欲しいんだ」ということを、生身の人としてつながる中で感じていただけないかと思っております。そうすることで商品事故が一つでも二つでも減っていくことを、私たちは願っています。

もう一つ大切な目標は、この取り組みを通して私たちがしっかりと利用普及をしていくということです。昨年度から先行して活動に取り組んでいる各生協では、実際に現場を見て、私たちの商品の素晴らしさを再確認し、どうやって組合員に伝えていくかを話して、利用普及の活動につなげている様子があります。おおいでも5月からスタートしました。何よりも、参加する組合員はこの取り組みをとても楽しみにしています。訪問を通して私たちの大好きな商品の秘密や確かさを知らることによって、私たちはさらに多くの組合員に向かってグリーンコープ商品の良さを伝えることができると思っています。

2019年度も様々な活動を予定しています。商品の確かさを確認する活動を通して、私たちがよりグリーンコープを伝えていく一年にしていきたいと思っております。



委員会での学習会の様子

2018年度は、12生協からの参加(1生協からの報告書提出)で、各生協での取り組みについて相談・協議できる場を意図しました。各生協の取り組みの様子を共有し、それぞれの活動に活かすことができるようにすすめました。

2018年度は、12生協からの参加(1生協からの報告書提出)で、各生協での取り組みについて相談・協議できる場を意図しました。各生協の取り組みの様子を共有し、それぞれの活動に活かすことができるようにすすめました。

2019年度もひとりの人間としての想いや、葉を大切に、皆で楽しく活動していきたいと思えます。



厚岸漁業協同組合の視察では、さんまの水揚げや競りにも立ち会い、活気ある漁港の様子を体感できました

2018年度は、グリーンコープ30周年を記念した商品開発に取り組みました。

「ぶ」グリーンコープ30周年記念ワインは、食用のぶどう(甲斐路)で作りました。酸化防止剤は使用していません。

2019年度も委員一人ひとりの感性を活かし、元気に楽しく活動していきます。

組織委員会 各生協の取り組みについて、相談・協議できる場を意識して、各生協の活動を支えます

2019.6.12 グリーンコープ生活協同組合連合会

第二十七期通常総会 委員会報告



産直りんご生産者津軽みらい農協石川との視察交流の様子

各生協の取り組みの共有や学習、交流を行い商品をすすめる委員会として活発に活動しました。

牛乳の利用普及に、年間を通して取り組みました。学習会では、産直びん牛乳の良さを再確認できる

予約の取り組みや利用普及につなげました。産直野菜学習会では、あまり利用することがない野菜や豊作野菜を取り

福祉委員会 報告、共有を丁寧に行い、意見交換を通して各生協の取り組みに活かしました

2018年度は、10月から1生協を迎え、12の生協が参加する委員会となりました。

10月には、生活再生事業推進室長の行岡みち子さんを迎え、グリーンコープの生活再生事業について学びました。

11月には、スクールソーシャルワーカーの梶谷優子さんを講師に、第1回福祉拡大会議を開催しました。

『しがまる生活協同組合』が加わりました。第五号議案 定款変更の件(滋賀県を加える区域変更)

Table with 4 columns: 代議員数203人, 反対, 保留, 賛成. Lists 9 resolutions and their voting results.

連合会第二十七期通常総会で選出された役員. Lists members for 全体区理事, 地域区理事, 退任した役員, and 退任監事.

商品検討委員会 一つひとつ真摯に検討を重ね、自信を持っておすすめできるたくさんの商品を登場させました

商品おすすめ委員会 食べもの運動をすすめるため、視察交流や学習会を行い、各生協の利用普及につなげました